

世界寺子屋運動—カンボジア事務所 23 軒目の寺子屋を建設中！

寺子屋に飾る銘板にあなたの名前を刻みませんか？



※22 軒目のタトラウ寺子屋の外観と銘板

現在、カンボジアにて新規寺子屋の建設を行っており、2025 年 1 月ごろ完成予定です。そこで、カンボジア 23 軒目となるチュバタトラウ寺子屋の建設にご支援を頂ける方（団体・個人）を広く募っています。

10 万円以上のご寄付をいただいた方で、希望される場合は、感謝の意を込めて寺子屋に飾る銘板にお名前を刻ませていただきます。銘板は寺子屋の入り口付近に飾られる予定です。

地域の子どもたちに教育の機会を提供し、未来を切り拓く力を育むため、ご協力をお願いいたします。

銘板を希望される方への申し込み方法・問い合わせ方法の記載が必要

銘板記載の流れ：

① 世界寺子屋運動（カンボジア指定）に現金 10 万円以上をご寄付

ご寄付の期限：2024 年 12 月末

※1 度のご入金で 10 万円以上が対象となります。分割してご寄付頂く場合は、メールにてご連絡ください。

※通信欄等に、「カンボジア指定」と明記し、メールアドレスをご記入ください。海外事業部

[nfuj_inc@unesco.or.jp](mailto:nfuaj_inc@unesco.or.jp) 宛てに『件名：銘板希望』としてご連絡をいただくとより確実です。

② 2025年1月に、海外事業部 ([nfuj_inc@unesco.or.jp](mailto:nfuaj_inc@unesco.or.jp)) より銘板記載に関する確認のメールを差し上げます。

ご不明な点は、お問い合わせください。

([nfuj_inc@unesco.or.jp](mailto:nfuaj_inc@unesco.or.jp) 海外事業部)

* 寺子屋建設は毎年実施されるとは限りませんので、時期などをご指定いただくことはできません。

23 軒目のチュバタトラウ寺子屋について：

チュバタトラウ地区（コミュニオン）は、内戦の最前線となった場所で、地域社会は壊滅的な被害を受けました。特に教育への被害は大きく、2011年のデータでは、成人（15-45歳）の50%が非識字者でした。現在も社会基盤は脆弱で、新型コロナウイルス感染症まん延時には、多くの人が職を失うなど経済的に困難に陥っています。現在は、地域内の28%の家庭が1日1ドル以下の収入で暮らす貧困世帯であり、約30%の子どもたちが小学校に通っていません。

寺子屋が建設されることで、復学支援や識字クラスを通して地域住民の教育状況の改善につながることが期待されています。さらに、職業訓練や小口融資による経済状況の改善や様々な医療サービスの提供の場としても利用される予定です。